

# よらねがね小合

## 校歌と共に



小合小学校  
校長 間 由香利

小合小学校校歌は昭和四十三年に制定されました。校舎は改修を経て変わっても、校歌は変わらず親子三代歌い継がれています。私は、教育目標である「心豊かな子」「自ら考える子」「たくましい子」の精神は、校歌に謳われていると捉え、全校で集まるたびに、校歌の一部を歌い、子どもに伝えていきます。

♪花を 育て 地球を温め  
春の 陽ざしが 降ってきます♪

♪花を育て♪と始まる校歌の通り、今年も「青空班花壇」の活動を行いました。一年生から六年生までを縦割りにした青空班では、高学年がリーダーシップを発揮して下学年に優しく教えたり役割を指示したりして仲よく活動を進めています。振り返り活動を重視し、♪春の陽ざし♪のようにあたたかな

人間関係を築き「心豊かな子」を育てます。

♪鍛えよう 丈夫な体 明るい心♪

運動会は、徒競走と団体競技、応援合戦などを行いました。一生懸命にゴールや優勝を目指し、精一杯力を出し切る子どもの姿に、たくましさを感じました。♪丈夫な体 明るい心♪を鍛え「たくましい子」を育てます。

♪学ぼう 親しい自然 ゆたかな力♪

夏休みには、体験を通して学ぶ大切さを伝えました。自由研究発表会では、絵や工作

発行者  
小合地域コミュニティ協議会  
(コミュニティセンター内)  
☎0250-25-2299  
発行人/古田 治  
編集/総務部

### 地域の人口動態

令和3年10月末現在		
世帯数	1,255	戸
人口	3,587	人
男	1,748	人
女	1,839	人

などの他、一人一人に配布された学習用iPadを活用した子どもが多くなりました。友達に自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりして考えることを大切にするための道具として、鉛筆、ノートと同様に学習用iPadの活用を進め「自ら考える子」を育てます。

♪語ろう 仲よい今日を 楽しい明日を♪

運動会前、マラソン記録会前には、PTA草取り作業を保護者の皆様にお願いしました。また、開校記念樹であるメタセコイアや松の剪定、石庭整備には、「グリーンボランティア」として小合地域

コミュニティ協議会やOB会をはじめとするたくさんの方々が力を貸してくださいました。ありがとうございました。

これからも、「一人一人の笑顔が輝く学校」を合言葉に、小合の宝である子どもを真ん中に♪語り合い♪、地域・家庭・学校がよりよい小合地区、小合小を目指し、共に歩んでいくことを大切にしてまいります。

どうぞ、よろしくお願います。

### 【お知らせ】小合地区コミュニティセンターをご利用の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸室の収容定員を50%としておりましたが、今後は**100%以内**となります。

ただし、カラオケ・合唱・ダンス・詩吟などの活動については引き続き**50%以内**での利用をお願いいたします。

来館の際は、今後も引き続き**マスクの着用・手指の消毒**にご協力をお願いします。

秋の「小合愛さつ運動」を実施

街頭指導 9月27日・28日



運動期間は、9月27日(月)〜10月31日(日)ですが、街頭指導は、9月27日・28日の二日間行いました。

例年は、地域と学校PTAで分かれての街頭指導でした。今年度は、同日一緒に指導を行いました。「小合地域住民が世代を超えて挨拶を交わすことにより、住人同士の絆を深め、明るく活気に満ちた地域づくりに貢献する。」ことを、目的としています。車社会の中で住民同士が、挨拶を交わすことが少なくなってきました。

児童・生徒・園児・地域住民がお互いに顔を合わせて挨拶を交わすことは、地域のつながりを深くします。また、家庭内においての挨拶がしつかりされていることが地域での挨拶もスムーズに行くのではないのでしょうか。秋の愛さつ運動では、各小・中学校の児童・生徒の皆さんより「標語」を募集しました。

愛さつ運動をしつかりと捉えた標語が多く、選出するのにとても苦労しました。全員の標語を選出したいなと思いましたが、

挨拶は、強調月間だけでなく年間を通じて行うことで

すが、強調月間で改めて愛さつ運動の意義を考えることも大事ではないでしょうか。皆さんで、目と目を見つめての挨拶を致しましょう。愛さつ標語はコミセンに掲示しております。



「阿賀浦地区

「コミぶら散歩」

9月24日秋葉区コミュニティ連絡協議会の研修会「阿賀浦地区コミぶら散歩」が阿賀浦コミュニティ協議会主催で「坂口安吾と坂口家のルーツを探る」をコンセプトに開催された。10コミ協19名が参加し小合も2名が出席した。

早川徹会長のご挨拶の後、阿賀浦の紹介とコース説明があり、地区は東端を流れる阿賀野川の沖積地帯が主で湿地が多い。西には堤防の桜並木が美しい能代川が流れ東町、新金沢町、東金沢、大安寺、中新田の5町内がある。

磐越自動車道が南北に延びインターチェンジがありアクセスも良く学校などの教育環境や病院など医療も整っている事が紹介された。ビデオで散歩コースが上映され、先ず近代日本文学を代表する作家の一人、坂口安吾の墓を訪ねて、大安寺の坂口家墓所へ向かった。

現地案内は文芸評論家の若月忠信氏で、坂口家の祖先は慶長年間に肥後から越後へ来た事、やがて阿賀野川沿岸の湿地開拓で巨大な富を得た事など坂口家代々の話や訪問先句碑のエピソードを深く語った。

晴れたのどかな大安寺地内を歩いて、俳人東峨(四

代目重兵衛)の句碑を巡り安吾の親友で直木賞作家の壇一雄の句で大安寺に色紙で残っていた「亡友の泳ぎし跡か川広し」の句碑がある阿賀野川河畔を最後に訪ね研修会は終了した。

